

Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

埼玉県

U・Hさん

つわりやめまいがようやく落ち着いてきた妊娠7か月の時、ずっとずっとパパになるという人生最大の喜びを目前に、最愛の夫は後ろからトラックにはねられ亡くなりました。子どもが大好きで頼りになる夫を失った悲しみと不安がのしかかり、出産を控えた大切な時期に、事故のショックによる嘔吐や不眠…幸せの絶頂から地獄に叩き落とされたような時、私や夫の家族や多くの友人、職場の同僚…たくさんの方々のおかげで乗り越えられ、無事、元気な女の子が誕生しました。

又、交通遺児等育成基金というすばらしい制度がある事を知り、娘の将来についての不安も少し軽減することができました。まだまだつらいことがたくさんあると思いますが、皆様のおかげでこれからもどうにか乗り越えていけるような気がしています。

今回の事故で、夫を亡くした悲しみで枯れるほど涙しましたが、それと同時に多くの方々のお心遣いをいただき、たくさん嬉し涙も流しました。私は皆様のおかげで生きていくことができていると痛感しており、娘と共に感謝をお返して生きたい、と心の底から思っております。私たちの結婚式のテーマも“感謝”でした。夫もきっと、天国から多くの方々に感謝している事でしょう。交通遺児等育成基金様にはこれから何年もの間、お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。本当に本当にありがとうございます。



長野県

N・Mさん

主人が亡くなった時、小学校6年になったばかりの長男もこの交通遺児等育成基金のおかげで今年の春無事に希望の大学へと進学できました。本当にありがとうございました。今、楽しい大学生活を送っているようです。

悲しみ苦しみが多かった分、人の優しさや温かさをたくさん感じ、自分の人生を歩んで行ってほしいと思っています。次男も中学3年になり進路を考える時になりました。もう少しの間お世話になりますが、よろしく願いいたします。

愛知県

H・Yさん

「橋本給付金」ありがとうございました。次女は中学入学、長女は大学入学の喜びの春となりました。長女が小学5年、次女が4歳になったばかりの時に主人を失い「これからどうやって生きていこう」と思っていた時に、交通遺児等育成基金をはじめ、たくさんの方々、に助けていただき、やっとここまで来れたと思います。父を亡くしたことで、色々な事を考え、感じて成長していると思います。大人になった時にこのご恩を返せるように、成長して行ってほしいと思います。

東京都

S・Jさん

こんにちは。

あの日から今日まで長い年月の思いを表す適切な言葉は、私の知識の中に見つけることはできませんでした。

ただただ、私たち家族に関わって下さった多くの皆様に心から感謝し、心より申し上げます。

「ありがとうございました」

東京都

Y・Aさん

いつもご支援いただきありがとうございます。中学2年の長女、小学4年の長男とも、元気に学校に通っています。

私自身は毎日の仕事に追われ息も抜く暇もありませんが、必須の家事を趣味にしておもう！と、最近ではインターネットの料理ブログやスマイルズのお弁当コーナーのレシピなどを研究し、日々の食事作りを楽しんでおります。

子どもたちが自立できるまであと何年もありますが、どうぞよろしく願いいたします。

岡山県

T・Mさん

橋本給付金のご案内と図書カードのご送付、ありがとうございます。

小学校へ入学したころは、6年間は長いと思っていたのにあっという間に月日が経ち、4月から中学生になります。大きかったランドセルも、今ではちょこんと背中に乗っている様子で、たくましく育ってくれた息子を見て、頼もしく思えるようになりました。これからいろいろ大変な事もたくさんあると思いますが貴基金、橋本さん、周りの方々に支えてもらっている感謝の気持ちを忘れず、前向きにゆっくりでも進んで楽しく過ごせたらと思っています。本当にありがとうございます。大事に使わせてもらいます。ありがとうございます。

島根県

S・Mさん

この度は完了給付金のお知らせと図書カードをいただきありがとうございます。早いもので事故から19年が経とうとしています。

当時妊娠中だった息子を生むことに、皆から「苦勞するから」と反対されたものの生みました。その子が障害を持っていることが分かってから色々な苦勞がありました。主人が残してくれた最高の宝！この子がいたから一所懸命に生きることができました。

その際、基金の給付金がどれだけ助けになった事が。本当にありがとうございます。

大阪府

F・Sさん F・Tさん

♡お孫さんより

交通遺児等育成基金スタッフの皆さん、長い間私を温かく見守り支えてくれてありがとうございました。

私も今19歳の短大生となり勉学にアルバイト、友達との付き合いにと忙しい毎日を送っています。

交通事故で母を亡くし、皆から「寂しくなったな」と言われますが私はお友達や皆さんのおかげで寂しい思いをせずに過ごすことができました。でも今は時々母のことを思い出します。元気でいてくれたら町へ買い物などいっしょに行けたのにな。

でも私は周りにお友達がいる、仲間がいる。

車を運転する方、こういう子どもがいることを思い、十分気を付けて運転してください。

♡お祖父さまより

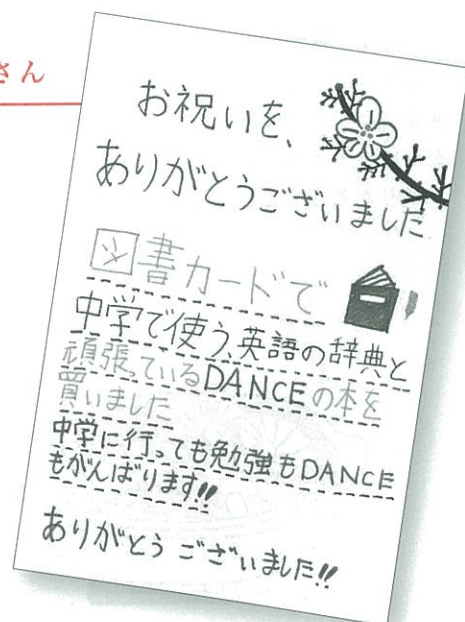
スタッフの皆様、長い間いろいろありがとうございました。

孫娘が小学校2年生の時から会員となり、これまで皆さんの支えで何事もなく無事に成長できたことに感謝します。毎月の給付金、色々な行事へのご招待など、子どもも楽しみに過ごしてまいりました。今は短大生、これからはどんな大人になっていくのか楽しみに見守ってまいります。

今後ともご指導ご支援のほどよろしく願いいたします。お礼のご挨拶とさせていただきます。

山梨県

O・Mさん



匿名希望さん

いつもお世話になっております。長男は今年の春、第一希望の大学に合格し、一人暮らしを始めました。入学式で長男のスーツ姿を見た時は、背格好や雰囲気が出なくなった主人にあまりにそっくりで、驚いてしまいました。いつまでも子どもだと思っていた自分の子がいきなり大人になってしまったようで、寂しいやら誇らしいやら、いろいろな感情が入り交じり、涙がこぼれそうになりました。一人暮らしを始めてから、初めての家事や自炊に一人で舞いのご様子ですが、自分のことは自分でできる自立した人間になってもらえたらいいなと思っています。

4年前に基金を卒業した娘は昨年結婚し、今年の冬には母親になる予定です。夫を亡くしてから2人の子ども達を何とか育て上げなくては、と必死で生活してきました。教育費の面でそれほど苦勞せずいられたのは、交通遺児等育成基金の制度のおかげだと思っています。本当にありがとうございます。私も長男が無事大学を卒業するまでのあと数年、頑張ろうと思います。

大阪府

N・Yさん

先日、亡夫の十七回忌を無事済ませ、丸16年が経ったことを実感しておりましたところへ給付完了の案内をいただき、感慨深い思いでいっぱいです。

上の娘は大学4回生で先ごろ希望の会社の内定をもらい次のステップへ向けて張り切っていますし、息子は大学2回生でまだ何がしたいのかハッキリしませんが、とにかく性格の良い優しい人間に育っています。

基金のおかげで片親ながらも世間並みの教育を受けさせてやることができ、お金のことで親子とも悩まずにこられたこと、とても感謝しています。

私の親としての仕事もそろそろ一段落、これからは世間のお役にたてることを何かしていかなくてはと考えております。本当に長い間お世話になり、ありがとうございました。

山梨県

T・Kさん

2月をもって育成給付金を完了しました。平成13年から13年間、本当にありがとうございました。長男は知的障害があるため、県内支援学校高等部を卒業ののち、農業系の事業所で養鶏等の仕事を始めておよそ1年、元気に通っています。この都合で母はフルタイム勤務できませんので、給付金は本当に助かりました、というより生きていけるよすがとして、大きな柱の一つでありました。

この基金の存在を、事故の相手方の保険の担当者の方から教えていただきました。ありがたい事だと思います。多くの助けをいただいております。ご寄付いただいている皆様にはいつもずっと感謝しております。交通事故が無くなりますように。運転者である私、娘が交通事故を起こさぬように気を付けます。



【基金事務局より】

今年の夏は、京都、広島、北海道と全国各地で豪雨や大規模な土砂災害が起きました。被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

交通遺児等育成基金では支援給付事業のひとつとして「緊急時見舞金」という制度を設けており、特に生計困窮度の高い交通遺児等家庭において、災害等により家屋等が甚大な被災をした場合にお見舞金を支給しております。詳しくは交通遺児等育成基金のホームページをご覧ください。《緊急時見舞金についての問合せ先：03-3237-0158》